

グローバルユース 防災 BOSAI サミット 2025



「グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博」の開催及び大阪市を拠点とする
ユースによる防災活動 【2025年度上半期活動報告書】

グローバルユース防災サミット実行委員会

グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博の開催 および大阪市を拠点とするユースによる防災活動

事業の目的

大阪市在住・在学のユース(小学生～大学生)を対象に、防災学習と地域での実践の機会を提供し、防災に関する知識と経験を培い、次世代の防災人材を育成する。

- ユースが主体的に大阪の災害の歴史を学び、教訓を継承する。
- 多文化共生の視点から、文化や言語の異なる外国ルーツの人々(留学生や訪日客、海外の防災ユースなど)との交流を通じて、多様な視点からBOSAIへの理解を深める。

ダイジェスト
映像



グローバルユース
BOSAI
サミット
2025

■ グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博の開催



5月17日(土)「グローバルユース防災サミット2025 in大阪関西万博」
ユース活動者97名(海外ゲスト10名含む)

①ステージ:来場者125名

②対話型展示:来場者210名

③防災意識調査:訪問国・地域65、協力者163組、358名



①ステージ：日本の防災の発信・世界のBOSAIとの共創

13:00-13:30 登壇者15名、来場者125名



小学生・中学生・高校生・
大学生らが海外ユースと共に
自分の言葉（日本語・
英語・手話）で発信

グローバルユース
BOSAI
サミット
2025

②対話型展示：自分たちの活動を伝える

10:00-20:00 登壇者87名、来場者210名

なぜ防災が
大切なのか

海外や他団体
どんな活動をして
いるのか



- 小学校1校
- 中学校3校
- 高校2校
- スピンオフユニット2団体
- 海外（トルコ、台湾、オーストラリア）

③防災意識調査：対話から世界のBOSAIを学ぶ

10:00-20:00 活動者87名+保護者・教員37名

どこから
来ましたか？



災害の経験は
ありますか？



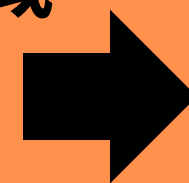
何を備えて
いますか？

防災に関心が
ありますか？



防災をどこで
学びましたか？

65カ国/地域
163組
358名



155カ国/地域
293組
651名

グローバルユース
BOSAI
サミット
2025

活動実績

1

学びと実践を通じたユース防災人材の育成

防災の基礎知識の習得から応用・実践に導く学習機会を提供しました。

実績：ユース245名(海外22名)、保護者・教員58名、一般(こども含む)164名

- (1)4/12(土) キックオフ&ユース会議
- (2)5/16(金) 大阪市立阿倍野防災センター見学
- (3)5/18(日) 大阪市水上消防署見学
- (4)5/18(日) 人と防災未来センター見学
- (5)5/19(月) 津波・高潮ステーション
- (6)6/5(木) 防災世界地図web版オンライン学習
- (7)8/10(日) 「ユースBOSAI万博」
- (8)9/20(土) 東日本大震災ドキュメンタリー映画上映&アフタートーク①
- (9)9/21(日) 東日本大震災ドキュメンタリー映画上映&アフタートーク②
- (10)2/21(土) 大阪市消防局高度専門教育訓練センターでの防災・救命訓練



活動実績

2

学びを地域や学校での防災活動に応用、実践(つづき)

ユースが地域の防災活動に参画し、防災の発信者としての経験を重ね、実践力・発信力を高めました。

実績:ユース31名、こども・保護者・教員・地域住民1,027名

- (1)8/1(金) 大阪市立茨田北小学校いきいき教室(鶴見区)
- (2)8/18(月) 大阪市立横堤小学校いきいき教室(鶴見区)
- (3)8/19(火) 大阪市立茨田小学校いきいき教室(鶴見区)
- (4)9/5(金) 大阪教育大学附属天王寺小学校(阿倍野区)
- (5)9/6(土) ゆ〜とあい西成(西成区)
- (6)9/27(土) 河内長野市おやこ防災キャンプ①
- (7) 9/28(日) 河内長野市おやこ防災キャンプ②
- (8)11/1(土) 大阪市立豊里小学校(東淀川区)
- (9)11/8(日) 中崎町ホール(北区)
- (10)2/14(土) ゆ〜とあい西成(西成区)*アンコール実施



活動実績

3

ユースの発想による新たな防災活動の創出

ユースならではの柔軟な発想を生かしてソリューションの提示・提案・発信に取り組みました。

実績:ユース33名

- (1)8/4(月)「高校生未来健康ビジネスコンテスト」(東和薬品株式会社主催)
ファイナリスト、横河電機賞受賞
- (2)9/20(土) 東日本大震災ドキュメンタリー映画上映&アフタートーク①
企画・広報・運営
- (3)9/21(日) 東日本大震災ドキュメンタリー映画上映&アフタートーク②
企画・広報・運営
- (4)9/27(土) 河内長野市おやこ防災キャンプ 企画・運営
- (5)9/28(日) 河内長野市おやこ防災キャンプ 企画・運営



活動実績

4

世界との対話を通じた「BOSAI」の発信

国内外のユースが協働し「防災/BOSAI」の意義と重要性を幅広い年代の人々に発信しました。

実績:ユース194名(海外17名)、保護者・教員58名、一般(こども/外国人含む)908名

- (1) 5/17(土)「グローバルユース防災サミット in大阪関西万博」
(万博会場内 TEAM EXPOパビリオン)
- (2) 8/10(日)「ユースBOSAI万博」(ATCパビリオン)
- (3) 9/17(水)「コラボウサイEXPO」(主催:一般社団法人大阪青年会議所)
(万博電力館パビリオン)
- (4) 11/22(土)「次世代BOSAIフォーラム」
- (5) 3/29(日)「BOSAI世界地図展2026 リアルミーティング
in ひとぼう」(人と防災未来センター)



グローバルユース
BOSAI
防災
サミット
2025

活動実績

5

防災情報の収集→可視化→共有→発信

万博で各国パビリオンを訪問、各国の災害の歴史と防災の現状について情報収集し、その結果を世界地図に可視化した「BOSAI世界地図」の制作と活用に取り組みました。

実績：ユース106名(海外7名)

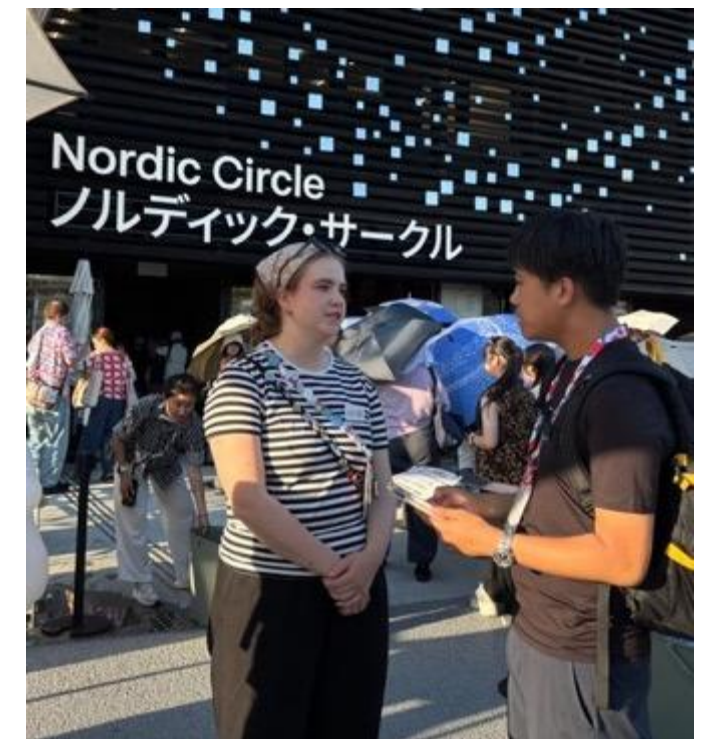
調査件数：155カ国、293組、651名



(1)万博会場での防災意識調査(21日間)

5/17(土)、19(月)

7/5(土)、13(日)、14(月)、18(金)、19(土)、20(日)、
21(月)、25(金)、8/3(日)、10(日)、14(木)、19(火)、
21(月)、22(火)、26(火)、30(土)、9/8(月)、17(水)、
21(日) 計21回



グローバルユース
防災
BOSAI
サミット
2025

活動実績

5

防災情報の収集→可視化→共有→発信

万博で各国パビリオンを訪問、各国の災害の歴史と防災の現状について情報収集し、その結果を世界地図に可視化した「BOSAI世界地図」の制作と活用に取り組みました。

(2)「防災世界地図」の展示 12件

- ①4/15(火)～3/31(火) 万博ATCパビリオン(グリーンエコプラザ)
- ②5/17(土) グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博
- ③5/31(土) NIKKEI未来共創ENGINE会場
- ④7/5(土) 読売新聞社大阪本社ロビー
- ⑤9/7(日) ぼうさいこくたいin新潟
- ⑥9/17(水) 万博電力館パビリオン
- ⑦9/20(土) 大阪教育大学天王寺キャンパス
- ⑧9/21(日) 大阪総合保育大学
- ⑨10/11(土) Cityラボ東京
- ⑩11/22(土) 万博ATCパビリオン
- ⑪2/14(日) ゆ～とあい西成
- ⑫2/17(火)～18(水) NIKKEI未来共創フォーラム
- ⑬3/17(火)～5/10(日) 人と防災未来センター



活動実績

6

多様な主体との連携強化

JICA、防災科学技術研究所、教育機関、新聞社、市立デザイン教育研究所（デ研）との協働により、防災を多様な視点と手法で発信しました。

実績：ユース178名（海外13名）

①デ研（「防災世界地図」制作）

4/12（土）、19（土）、24（木）、26（土）、5/9（金）、15（木）、29（木）、6/21（土）、7/12（土）、26（土）、8/8（金）、20（水）、9/9（火）全13回、97名、教員20名

*写真上

②防災科学技術研究所（Web版「防災世界地図」制作）

6/5（木）

③読売新聞社・JICA関西（各国の災害・防災に関する学習および交流）

7/5（土）、8/10（日）



活動実績

6

多様な主体との連携強化(つづき)

JICA、防災科学技術研究所、教育機関、新聞社、市立デザイン教育研究所(デ研)との協働により、防災を多様な視点と手法で発信しました。

④大阪公立大学・大阪青年会議所(コラボウサイin万博電力館)

コラボウサイ内自主企画「グローバルユース防災ミニサミット」

9/17(水)

対話型展示:来場者62名、防災意識調査:6カ国・地域、14組、21名

⑤日本経済新聞社 NIKKEI未来社会共創ENGINE

5/31(土)、7/25(金)、9/29(月)、11/28(金)、2/17(火)、18日(水)

⑥大阪大学いのち会議 教員・学生メンバーとの意見交換会

10/19(日)



活動実績

7

自立・自律した組織づくり

持続可能な活動を生み出す組織運営をめざし、ユースとの意見交換を重ね、ユースが主体的に議論を重ね、数々の方針決定ができるよう自立・自律の推進に努めました。

実績:ユース136名

①ユース会議(定例会)

議題:「防災サミット」の企画や段取り確認、展示物のレイアウト、ユースのグループ編成

「ユースBOSAI万博」「次世代BOSAIフォーラム」「BOSAI世界地図展」企画 など

4/6(日)、8(火)、12(土)、19(土)、23(水)、24(木)、26(土)、

5/9(金)、14(水)、15(木)、27(火)、29(木)、

6/10(火)、21(土)、23(月)、7/12(土)、14(月)、26(土)、

8/8(金)、9(土)、20(水)、9/9(火)、16(火)、10/19(日)、11/17(月)、22(土)、

12/3(水)、9(火)、26(金)、1/23(金)、2/6(金) 計31回

継承 → 発展 → 学び

万博レガシーの継承

地域と世界をつなぐBOSAIにフォーカスし、学び・実践・発信を循環させながら、ユースへの防災教育の深化と、将来、社会で活躍する防災人材の育成へと発展させていく。

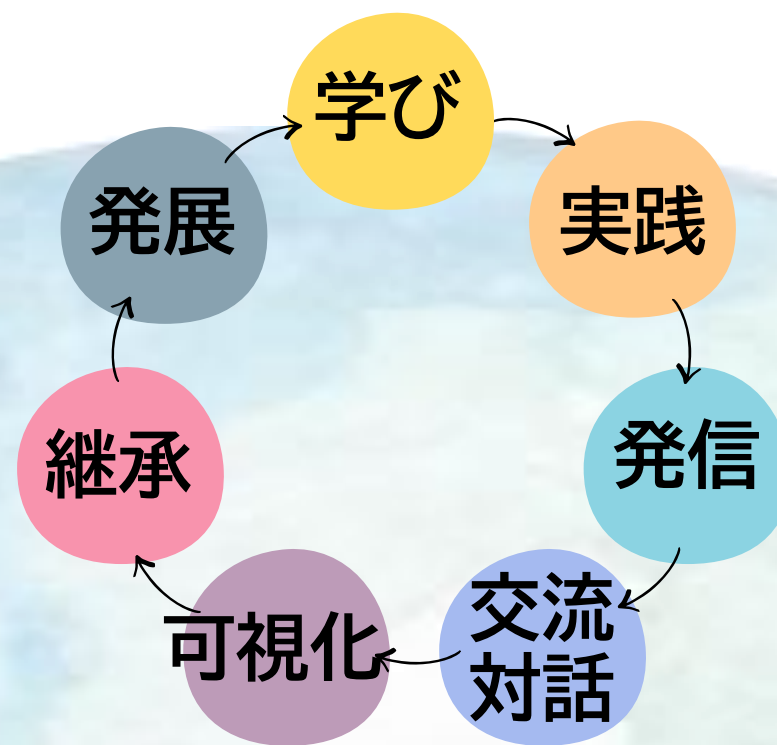


交流/対話 → 可視化 → 継承

防災世界地図の制作

災害に打ち勝つ持続可能な未来に向け、世界の人々の災害経験や声を集約。日本の防災と世界のBOSAIの双方の視点を整理し、次世代へ手渡す「BOSAIの道標」として地図に可視化した。

2026年3月17日～5月10日まで、人と防災未来センターにおいて「BOSAI世界地図」特別展示を行い、阪神・淡路大震災の教訓の継承とともに、世界に目を向けた防災意識の醸成に貢献した。



大阪・関西万博において開催した「グローバルユース防災サミット」では、ユースの企画により国内外で防災に取り組むユースが一堂に集い、グローバルな視点から「BOSAI」の意義と重要性を考えた。

世界の国々の災害の歴史や教訓、防災の現状について、各国パビリオンでの聞き取り調査により得られた情報を「BOSAI世界地図」に集約。万博後の社会において防災をより多くの人々と共有するツールとして活用していく。

学びから実践、発信、交流、可視化、継承、発展へ循環する仕組みを構築し、災害大国日本のユースが世界をつなぐ「BOSAIの架け橋」として果たしうる役割を明らかにした。



学び → 実践

地域・学校での防災実践

地元で自主的・継続的に取り組まれている防災学習や啓発活動と並行して、学校や地域の枠組みを超え、ユースがともに防災を学び、そこで培った知識と仲間との協働から新しい防災活動の共創、実践に取り組む。
この過程を通じて、防災の当事者・推進者としての自覚と責任を育む。



実践 → 発信 → 交流/対話

大阪・関西万博での発信

地元で開催された万博を好機ととらえ、国際防災サミットを開催。日本の防災の歴史や知見の発信に向けて何度も会議を重ね、チームワークを強化。さらに、海外から招聘したユースとの相互学習のほか、交流・対話を通じて多様な価値観に基づくBOSAIへの思いを共有した。



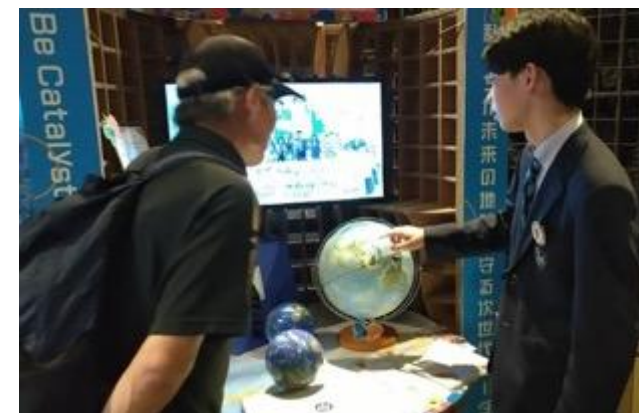
ユースの成長と変化

学校名 大阪府立水都国際高等学校

氏名 岩切 翔泉(いわきり かい)

ベトナムとフィリピンに行き、現地の人に声をかけ調査を行い、異なる文化を持つ人にも自ら積極的に話すことができるようになりました。フィリピンではスラム街を訪れたのですが、生活インフラの未整備で、常に“災害直後”のような生活を送っている住民の姿は今も忘れられません。

また、日本の防災にも目を向け、東日本大震災ドキュメンタリー映画の上映会(防災教育チャレンジプラン共催)の進行役を務めるなど、日本と世界の双方に目を向けた防災活動ができました。



ユースの成長と変化

団体名 team.カランコエ(花言葉:あなたを守る)

氏名 津上 遥奈(はるな:中2)、葵葉(あおば:小6)、
風花(ふうか:小4)

2022年から三姉妹でサミットの活動に参加しています。

私たちと同じ年頃のこどもたちに防災をもっと楽しく学んでほしいと考え、三人で防災ユニットを作り、私たちの得意なこと(文章を書くこと、絵を描くこと、話すこと)を生かして「防災紙芝居」づくりを始めました。

サミットでは、全国コンクールで賞をもらった作品を披露しました。

日本だけでなく、世界の人たちに見てもらい、「日本の災害や防災のことがよくわかったよ」と感想をいただきました。私たちの活動が遠くの国の人たちとつながれて、防災がますます好きになりました。

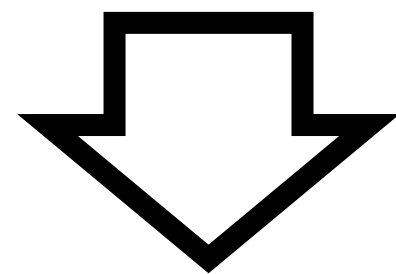


ユースの成長と変化

学校名 大阪公立大学

氏名 鈴木 俊翔(すずき しゅんと)

- 役割:ユースたちのサポート
- 主に参加した活動:万博に向けたワークショップや万博での活動
- ▶ユースたちの世界へと視点を移し、BOSAIを広めようと世界中の人々と交流する姿が非常に印象的だった



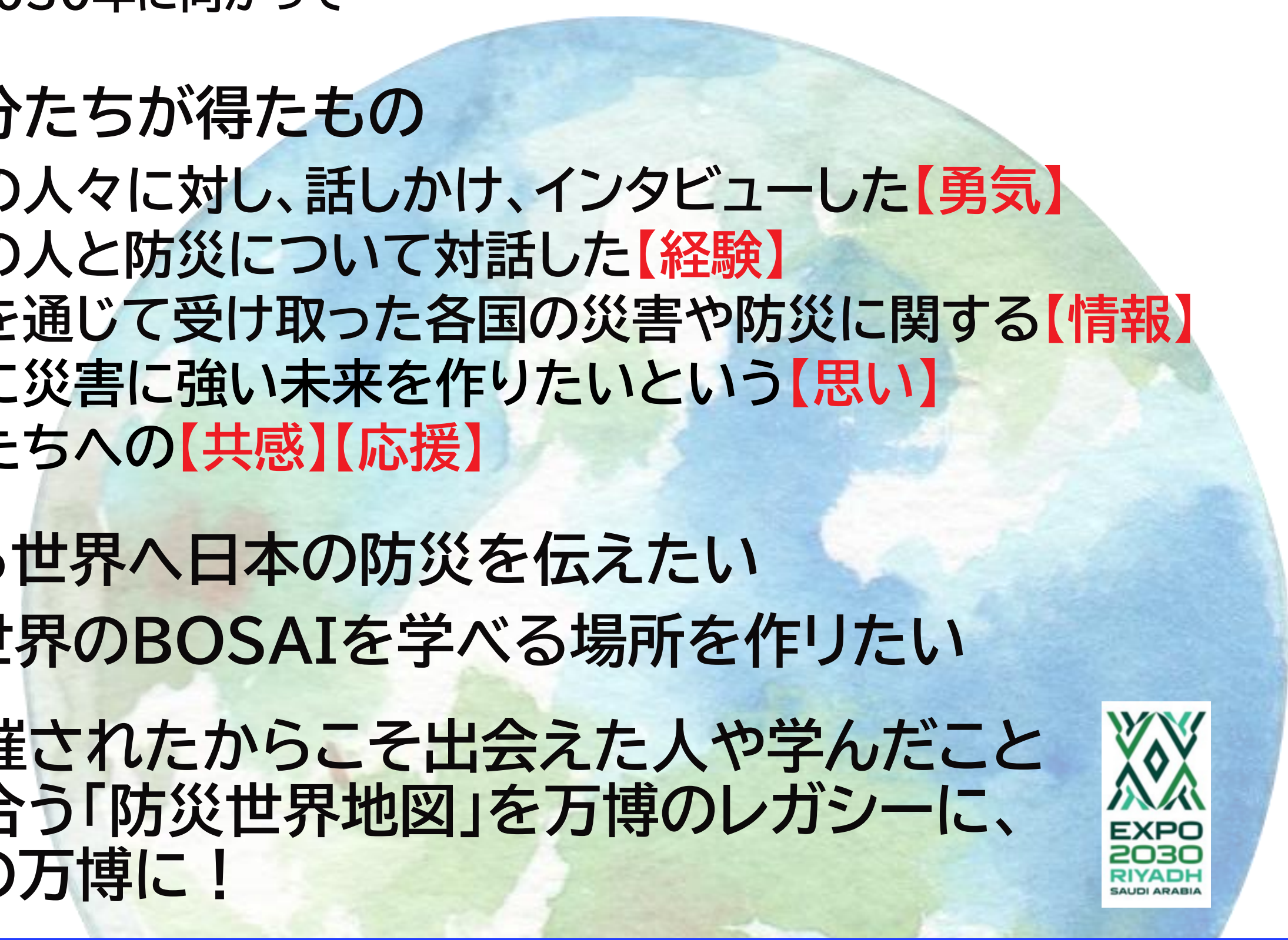
自身の変化:
フィリピンでのBOSAIを通した対話の実践



万博での経験を次のステージへ

2025年→2030年に向かって

万博で自分たちが得たもの

- 
- 
- ①海外の人々に対し、話しかけ、インタビューした【**勇気**】
 - ②海外の人と防災について対話した【**経験**】
 - ③対話を通じて受け取った各国の災害や防災に関する【**情報**】
 - ④互いに災害に強い未来を作りたいという【**思い**】
 - ⑤自分たちへの【**共感**】【**応援**】

- 大阪から世界へ日本の防災を伝えたい
- 大阪で世界のBOSAIを学べる場所を作りたい

万博が開催されたからこそ出会えた人や学んだことを分かち合う「防災世界地図」を万博のレガシーに、そして次の万博に！



グローバルユース
BOSAI
サミット
2025

グローバルユース 防災 BOSAI サミット 2025



「グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博」の開催及び大阪市を拠点とする
ユースによる防災活動 【2025年度上半期活動報告書】

グローバルユース防災サミット実行委員会